

■ 2023年度大学入学共通テスト終了

去る1月14日(土)、15日(日)に2023年度大学入学共通テストが行われました。本校の3年生も島根県立大学浜田キャンパスの試験場で115名(受験率87%)が受験してきました。ベネッセ・駿台が実施したデータネット集計によると、900点満点の全国平均が文系で532点(対前年+24点)、理系で544点(対前年+31点)だったようです。平均点は大幅に上がったものの出題傾向に大きな変化はなく、複数資料が提示されたり、日常場面での問題解決を題材とした出題がされたりする中で教科特有の「思考力・判断力・表現力」を深く問われる内容でした。一方、問題分量は昨年よりもさらに増加し、例えば数学IAでも前年から4ページ増えました。ある程度分量の文章を読解していく力は全ての教科において求められていると言えそうです。

さて、2年生は初めての「共通テスト模試」を受験し終えたばかりですね。どんな感想を持ちましたか?これからの1年で数多くの模試を受験していくこととなりますが、ひとつひとつの模試が受けっぱなしにならないようにしましょう。模試復習は「受験直後」と「成績返却直後」のタイミングが効果的です。全教科を完璧に復習することは難しいと思いますので、例えば「成績返却後は全国平均点との差がついた問題だけでももう一度解き直す」など、やるべきことを明確にしておくといよいでしょう。1年生は先日のホームルームの時間に大学入試の説明があったと思います。2年後の受験のイメージがつかめたでしょうか?今の3年生を見て2年後の自分をイメージしつつも、日々の授業や課題を大切にしていきましょう。

以下はベネッセによる今年の共通テストの分析をふまえた教科ごとの学習ポイントです。今後の学習の参考にしてください。



英語リーディング ~昨年同様、様々な場面や状況に応じた題材が取り上げられた~

- 内容や場面が工夫された素材が出題され、多面的なリーディング能力が問われている。「複数の情報を処理する力」や「文章の論理展開を把握する力」などを意識して伸ばしていこう。
- 限られた時間の中で、大量の英文を読む必要がある。日頃から多種多様な英文素材を短時間で読解する練習をしておこう。さらに、複数の英文と図表の内容を組み合わせるといった情報処理をすばやく行うような学習もしておこう。
- イギリス英語では、ズボンを表す trousers (アメリカ英語では pants) や、practise-practice のように、語句やつづりの違いが一部あることに慣れておこう。

英語リスニング ~イラスト並べ替え問題がなくなり、図表完成問題が出題された~

- 音声情報から具体的な状況やイメージを頭の中で思い浮かべられるかがポイントであった。話し手の意図や場面を意識しながら、音声を聞く練習を積もう。
- 今後も、音声情報と図表などの視覚情報をもとに解答したり、複数の情報を整理・判断したりするなど、多面的に情報を処理することが求められると予想される。重要な情報を逃さずに聞き取ることができるよう、メモを活用して短時間で情報を整理する練習を積むとよいだろう。
- 日常の会話から社会的なテーマのモノローグまで、出題される素材のテーマ・形式は幅広く、また、イギリス人や日本人を想定したと思われる話者を含む出題も見受けられる。日頃から様々な音声や問題形式に触れる機会を増やしておこう。

国語 ～全大問で複数テキストを比較・関連付ける思考力を問う出題～

- 生徒の学習過程を想定した設問や、複数テキストを比較・関連付ける応用的思考力を問う設問が出題される。本文の構成や展開を的確にとらえ、論旨や内容を正確に読み取る力に加えて、複数の文章や資料の共通点や相違点といった関連性をとらえる力が求められる。文章の表面的な読解にとどまらず、その根底にあるテーマや、表現の意図にまで着目して、深く考える力を身につけよう。
- 漢字や重要語、古典文法に関する設問など、基礎的な知識を問う設問は引き続き出題される。日々の学習を通して、ひとつひとつの知識事項を習得しながら、その知識を実際に使用する場面に応用して考えることを心がけよう。

数学ⅠA ～第2問で現実事象の問題、第3問で場合の数のみの出題～

- 試験時間 70 分でなるべく多くの解答ができるように、全体の時間配分が重要である。煩雑な計算を必要とし時間がかかる問題や、解法がなかなか見出せない問題は、勇気をもって飛ばしてほかの問題に着手するといった、時間配分を意識した演習もおこなう。
- 日常事象の問題や対話文を含む問題などでは、問題文が長く、じっくり問題を読んでいては時間切れになってしまう可能性が高い。問題文から必要な情報を素早く抜き出す訓練を積んでおこう。
- 各分野の定理・公式の定着を確認するような、基本的な問題は確実に得点できるようにしておきたい。教科書をもとに、定理・公式は成り立ちも含めて理解し、例題なども着実にこなすことで基礎基本を徹底しておこう。

数学ⅡB ～「積分法」「数列」で現実事象の問題。「図形と方程式」は出題なし～

- 現実事象を題材とした第2問や第4問のように、今後も文章量が多い問題が出題される可能性がある。問題で与えられた設定や解答方針の意図を素早く把握し、誘導に従いながら解き進めるようにしよう。
- 見慣れない問題を解く際は、値を代入した結果の推測や、条件の読みかえなど、自分のもつ知識との結びつけが重要になる。焦らずに、どの知識を用いればよいか、どの条件に着目すればよいかを考え、見通しを立てて解き進めるようにしよう。
- 共通テストと言えども、基本的な公式・定理を利用した問題も出題されている。教科書に載っている公式や定理を、その成り立ちなども含め理解しておこう。その基礎となるのが学校の授業であるので、日ごろの授業を大切にしよう。

世界史B ～資料読解から一步踏み込み、吟味・活用する力が求められた～

- 資料の性質を踏まえて多様な資料を読み取り、読み取った内容を吟味・活用する演習を積み重ねよう。
- 資料や知識に基づきながら、歴史上の出来事同士の因果関係を想起・考察する力など、歴史上の出来事を多面的・多角的にとらえる視点を身につけよう。
- 会話文の読解を要する問題に対応するために、生徒や先生がどのような資料に着目し、どのような視点に立って会話を展開しているのか、会話文の主題を把握しながら判断する力を培おう。
- 資料と知識を組み合わせる問題に対応するためには、資料の前提となる時代や地域、出来事の背景を理解することが重要なため、基本的な知識の習得にも力を入れて取り組もう。

日本史 B ～初見史料が多く、丁寧な読解が求められた。社会経済史は減少～

- 歴史を考察する多面的・多角的な視点が求められる。同じ出来事でも、立場や視点を変えるとどのような評価ができるのか、学習内容と関連づけて考えよう。
- 多様な多くの史資料を読解する力が求められる。教科書や資料集などを活用し、さまざまな史資料に慣れておきたい。史資料から読み取れることを自分でまとめるなど、ポイントや趣旨を把握する訓練をしよう。
- 選択肢だけでなくリード文や設問文にも注意を広げ、特徴や根拠となるポイントを大問全体から見出す力を培おう。
- 歴史用語や出来事などの基本的事項の理解が必要である。単なる用語暗記だけではなく、関連する事項もあわせて整理しよう。

地理 B ～多様な資料が扱われ、知識の活用と事象の背景や条件への深い理解が求められた～

- 複数の事項を組み合わせて深い思考力を問う問題が出題される。資料に示された数値の変化や差異がみられる点に着目することが大切になる。また、学習した原理原則や扱った統計を整理して、自分で表現することで、多彩な資料を読解する力も身につけよう。
- 地誌の学習では、単に国ごとに特徴を確認するだけではなく、どのような自然的・社会的条件があるのか背景を考察するなかで地域へ視野を広げ、理解を深めよう。
- 基本的な知識をおさえるとともに、単に概念や傾向を暗記するのではなく、どのような要因があるのかや異なる事象との間にどのような影響があるのかなどを考えよう。

現代社会 ～国際経済からの出題が増加。多様な資料を読み解き考察する力が求められた～

- 多様な資料を読解して解釈する力や、複数の資料を関連づけて考察する力が要求される。普段から資料集などをよく読んでおきたい。また、資料の読み取りだけでなく、資料をどのように活用していくかということも考えるようにしよう。
- 知識をもとに考察する問題に対応するために、用語の暗記だけではなく、用語の内容まで正しく理解しておくことが重要である。また、事象同士の横のつながりを意識しながらの学習や、異なる分野の事象がどのように影響し合っているかを関連づけながら学習をすすめよう。
- 学習した事項を現実の社会の事例にあてはめて考える問題への対応が必要である。日ごろからニュースなどをみて社会に対する関心を持ち、わからないことがあれば自ら調べてみよう。

化学基礎 ～しょうゆに含まれる NaCl の量を測定する実験が出題された～

- 教科書を中心に基本的な内容をまんべんなく理解しておくことが大切である。学習した内容は確実に定着させておきたい。
- 共通テストでは、見慣れない実験に関する原理や操作、結果からの考察などについて問われることが今後も予想される。まずは教科書で扱われている実験について、原理や操作の意味、結果から導かれる事柄などを、確実におさえよう。
- 問題文の概要を把握して解答する問題や、現象を図・グラフで表現する問題など、さまざまな種類の問題演習に取り組み、思考力を磨こう。

生物基礎 ～グラフや実験の解釈を通して思考力を問う設問が数多く出題された～

- 目新しい題材や目新しい実験を扱った問題にも対応できるよう、教科書に掲載されている重要用語は単に覚えるだけでなく、図式化することを通して現象やしくみを理解しておこう。
- 観察・実験の結果などのデータを、授業で学んだ知識と関連づけて、論理的に解釈する経験を積んでおこう。また、対照実験を含めた実験の設定方法についても身につけておこう。
- 日ごろから生物に関連した文献などを文のつながりに注意しながら読んでおこう。問題を解くときには、きちんと読んだうえで解答に必要な情報を取捨選択するように心がけよう。

物理 ～落下運動やコンデンサーに関する探究活動の問題が出された～

- 日ごろから実験に積極的に取り組み、実験の経験を積んでおきたい。
- グラフを読み取って考察する問題は、今後も出題が予想される。日ごろから、グラフから読み取れる情報をもとに、推測・判断する経験を積んでおこう。
- 目新しい題材や目新しい設定の問題にも対応できるように、日常の場面でみられる現象と物理法則がどのように関連しているのか広く考えることを、普段から意識しよう。
- 物理法則にもとづいて仮説を立てて実験を行い、その結果をレポートにまとめるなど、実際に得られた実験結果を考察したり、検証する練習をしておこう。

化学 ～実験を題材にした問題が多く、紫外線の透過率を扱った問題が目新しい～

- 教科書を中心に基本的な内容をまんべんなく理解しておくことが大切である。学習した内容は、確実に定着させておきたい。
- 教科書に掲載されている実験や探究活動について、その意図や手法をしっかりと理解しておきたい。さらに、得られたデータから、作図や計算をする演習も積んでおこう。
- 問題演習に取り組み、問題の概要を把握する力と、与えられた問題文や図・グラフの情報をもとに正答の導出過程を考察する力を磨いておきたい。

生物 ～さまざまな切り口の実験考察問題がみられ、高い思考力が求められた～

- 教科書に記載されている知識を覚えるだけでなく、分野どうしのつながりや、身のまわりの現象との関連を考える習慣を身につけよう。
- 問題文、設問文、複数の図表・グラフなど、多くの情報から必要な情報を読み取る練習をしておこう。
- 実験結果を解釈するだけでなく、その実験は何を明らかにするために計画されたのかを考えるなど、仮説を立てたり、実験を設計したりする視点をもとう。
- 複雑な生命現象を分析したり、モデル化したりする研究にも興味をもち、時にはインターネットなどで公開されている論文や調査報告などの資料も読んでみよう。その際には、教科書で学んだ知識と関連づけて考えられないかを意識しながら、調査内容や実験結果から導かれる結論を自分なりに考えてみよう。

